



東北ニュース 震災・防災 スポーツ 全国・海外 特集 コラム 写真

## 学習障害の子の勉強方法？ 学習障害と診断されても諦めない。3 つのコツで才能をドンドン伸ばそう



宮城

### 4年間会話も楽しかった 仮設の学習支援に幕

2015年09月30日 水曜日



最後の学習会でボランティアと勉強する子どもたち

東日本大震災後、仮設住宅で暮らす子どもたちを対象に仙台市のNPO法人「アスイク」が約4年間続けてきた学習支援が終わった。対象世帯の多くが災害公営住宅などに移り、一定の役割を終えたと判断した。

最後の学習会が28日夜、JR東日本が仮設住宅として開放した若林区の南小泉社宅の空き部屋であった。小学3年から中学2年の7人が、大学生や社会人のボランティア7人と一緒に問題集を解いたり絵を描いたりして過ごした。

七郷中2年の大学心さん(14)は学習会が始まった2011年7月以降、昨年5月に同区の市営住宅に移った後も通い続けた。「おしゃべりするだけでも楽しかった」と振り返り、母親の三保さん(42)は「落ち込みがちな仮設暮らしを支えてくれた」と感謝した。

学習支援は、落ち着いて勉強しにくい仮設暮らしの子どもを支えるのが目的。一時は週1回の学習会を市内6カ所で開いたが、入居世帯が減り、ボランティア確保も難しくなったため昨年5月に規模を縮小した。

アスイクの大橋雄介代表理事(35)は「子どもの居場所をつくることができた。今後は低所得世帯など困窮家庭の学習支援事業に力を入れたい」と語った。